

# ANNUAL REPORT 2021



shine on!

シャイン・オン!キッズ

# GREETINGS



多くの賢人が「困難に直面することで人はより強く、よりたくましくなる」と語っています。2021年もコロナ禍が続き、あらゆる人たちにとって「試練の年」だったと思います。

重い病気とたたかう子どもたちにとっても、引き続き困難な年でした。

面会が厳しく制限されたことで、多くの入院中の子どもたちが、これまで以上に深い孤独に陥ったのです。看病する親御さんたちも、不安の中、短時間しか我が子に会うことができませんでした。入院中の子ども達は、コロナ禍前でしたら、週末に自宅に戻るチャンスがありましたが、それもなかなかできず、そのストレスに対処する術を学ばなければなりません。さらに退院はしたものの、自宅療養が続く子ども達やそのご家族も、感染対策を第一に過ごしていたため、気軽に人と会えない状況が続きました。

こうした状況の中、シャイン・オン!キッズのメインプログラム「ファシリテッド・プログラム」や「ビーズ・オブ・カレッジ」は、いつも通り、感染対策を行いながら、活動を継続することができました。シャイン・オン!キッズは、すべてのプログラムが医療従事者によって実施されているため、自粛期間中も病院での活動を継続できる数少ないNPOでした。

我々の活動のニーズが明らかに高まり、新たに2組のファシリテッドチームを誕生させ、「ビーズ・オブ・カレッジ」も病院数を増やし、「シャイン・オン!マザーズ・クラブ」を通じてお母様たちをオンラインでサポートさせていただきました。これは、困難な状況の子ども達とそのご家族の生活をより良くするために、多大なサポートをいただいたご支援者の皆様のおかげに尽きます。

2021年は対面での活動報告会や資金調達イベントは叶いませんでしたが、クラウドファンディングなど様々な形でご寄付をいただきました。おかげさまで、過去数年で最も健全な財務状況のもと、黒字で年を越すこともできました。

長年応援してくださり温かく見守ってくださる皆様に、この場を



シャイン・オン!キッズ

お借りして、あらためて心より御礼申し上げます。

私たちは、医師や看護師等医療スタッフの皆様、ご両親や兄弟姉妹、そしてもちろん患児自身の声に常に耳を傾けています。開発より2年目となったオンライン事業の「シャイン・オン!コネクションズ、2017年から継続している小児がん経験者のキャリア学習支援事業である「キャンプカレッジ」を通じて、子どもたちと外の世界、友人、メンターを文字通り繋ぎ、有意義な活動を創り出しました。

社会が直面している感染症との戦いは、しばらくは続くでしょう。シャイン・オン!キッズの活動が、しっかりと確実に日本中の子ども達やそのご家族、医療スタッフの皆様のために根付き、より良いものになるよう今後も精進をしていきます。未来に向けて、小児がんや重い病気とたたかうお子様やそのご家族がより良い生活を送るために、クオリティの高い活動を続けていくことをお約束します。

今後とも温かいご支援をよろしくお願いいたします。

シャイン・オン!キッズ 理事長  
キンバリ・フォーサイス

# LOCATIONS

## 国内での普及状況

● **勇気のピース (ピース・オブ・カレッジ) × 25 病院**：札幌医科大学附属病院 / 茨城県立こども病院 / 筑波大学附属病院 / 埼玉県立小児医療センター / 千葉大学医学部附属病院 / 成田赤十字病院 / 慶應義塾大学病院 / 国立がん研究センター中央病院 / 東京医科歯科大学病院 / 東京慈恵会医科大学附属病院 / 東京都立小児総合医療センター / 横浜市立大学附属病院 / 静岡県立こども病院 / 独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院 / 大阪市立総合医療センター / 大阪赤十字病院 / 神戸大学医学部附属病院 / チャイルド・ケモ・ハウス / 兵庫県立こども病院 / 島根大学医学部附属病院 / 高知医療センター / 九州がんセンター / 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター / 他 2 病院

● **ファシリテイドッグ × 4病院**：静岡県立こども病院 / 神奈川県立こども医療センター / 東京都立小児総合医療センター / 国立成育医療研究センター



# BOARD MEMBERS

代表者 理事長	キンバリ・フォーサイス
理事 副理事長	原純一 (大阪市立総合医療センター/病院顧問)
理事	黒田達夫 (慶應義塾大学外科学(小児)教授)
理事	西村亮平 (東京大学大学院農学生命科学研究科 教授)
理事	谷本有香 (フォーブスJAPAN執行役員 Web編集長)
監事	ランダル・バンクス・ゴンザレス (米企業役員)
監事	橋本悠司 (税理士)

# PROGRAMS

## Support Flow

① シャイン・オン！  
フレンズ



② ファシリテイドッグ



③ ビーズ・オブ・カレッジ



④ シャイン・オン！  
コネクションズ



⑤ キャンプカレッジ



## Impact (Numbers)

ファシリテイドッグ・プログラム訪問回数	延6631回
ビーズ・オブ・カレッジ参加者数	432人
シャイン・オン！マザーズクラブ参加者数	延80人
シャイン・オン！コネクションズ参加者数	延1127人
キャンプ・カレッジ参加者数	30人

新チーム紹介：成育医療研究センター配属 権守礼美&マサ



## Shine On! Kids



## ファシリテッドッグ

病院での動物介在介入による医療支援を目的としたファシリテッドッグ・プログラムを、4箇所の小児医療施設で実施しました。神奈川県立こども医療センター（アニー）東京都立小児総合医療センター（アイビー）に加え、7月からは新規導入となる国立成育医療研究センター（マサ）、9月には静岡県立こども病院の活動をヨギからタイに引継ぎ、4病院の訪問は合計延6631回でした。

外部の専門家4名を迎えたファシリテッドッグ・アドバイザー・ボードとの協働も本格化し、現在はファシリテッドッグの健康管理方法の改訂や、フォローアップ研修の拡充、次年度の新モデルによるサポート・チーム（仮）の導入に向け計画を立案するなど、持続しやすい仕組みづくりに鋭意取り組んでいます。

担当者：村田夏子

新チーム紹介：静岡県立こども病院 2代目チーム 鈴木恵子&ヨギ



新チーム紹介：静岡県立こども病院配属 谷口めぐみ&タイ



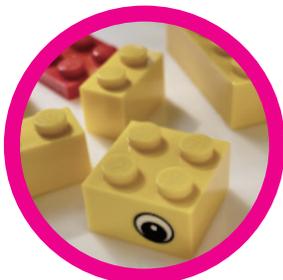
# シャイン・オン!コネクションズ



全国の病院では長引く新型コロナウイルス感染症への対策により厳しい面会制限に加え、院内の楽しいイベントの開催も難しい状況が続いています。入院中のお子様の”心のケア”の必要性は一層高まっています。その対応の一環として2020年5月よりシャイン・オン!コネクションズ（以下SOC）を開始し、全国18の小児病棟に対して「双方向型の各種オンライン・ワークショップ」を提供しています。一方的なレクチャーとは違い、お互いにコミュニケーションを取りながら、プログラムを進めていくことを特徴とし、内容も音楽、アート体験やサイエンスショーなどお子様のワクワクや、自己肯定感が高まる仕組みを意識しています。病院からのご希望やSTEAM教育の視点を考慮し、取り揃えています。日本ではあまり前例のない取り組みでしたが、開始当初から大変好評をいただき、2021年には、対象年齢を小児病棟全体（乳幼児から高校生以上）に拡大、提供のプログラム数は20以上、開催実績も述べ200回を超え

るほどにまで成長・定着しつつあります。お子様の負担を考慮し、1回30分程度としていますが、プロの講師も充実させ、特別編成したコンテンツで質的な充実にも努めています。また退院後を視野にいれたキャリア支援のためのバーチャル職場体験（Yahoo基金による助成）も院内学級とコラボして実施しました。通信環境が整わない病院も多いため、通信機能のあるiPadやプロジェクター、遠隔ロボットOriHimeも無償貸与を継続しています。また、院内イベントが難しかったクリーンルームや個室、処置室などにもお届けできることとなり、活動範囲は一層広がりました。2022年は「正式に病院の通年の活動として採用したい」との嬉しい打診もあったため、現在定期開催をしている病院もあり、今後も皆様のご希望に寄り添いながら、活動を継続してまいります。

担当者：松田依子



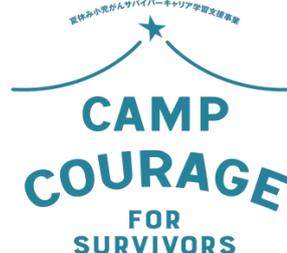
## キャンプカレッジ



キャンプカレッジは「小児がんの治療」という経験を「自信」に変えていくコミュニティ作りと学習やキャリア支援を目指し運営しています。小児がんの種類や治療をしている年齢、時期、その後の経過などにかかわらず、それぞれの得意なことや好きなことで壁を乗り越えていけるような強い輪を作ることを目指しています。小児がん経験者自身がリーダーとなって仲間と取り組みたいことを企画し、私たちシャイン・オン!キッズが運営をサポートするプログラムです。

2021年はコロナ禍のため、感染対策を優先し、全4回のワークショップをオンラインで実施しました。参加者それぞれの描いた絵をコラージュしてオリジナルのトートバッグを作成したり、2020年に誕生し

たオリジナルソング「ぼくらはひとつ」の手話バージョンにも取り組みました。皆でオンラインで練習の後、各自がビデオ撮影し1本の動画にして公開しています(<https://youtu.be/k8Q16M0oP18>)。また、伝えたいメッセージを現代短歌にし、それに合う写真を撮影して作品を作り上げるなど、多彩なワークショップも実施しました。



担当者：加藤郷子



# シャイン・オン!フレンズ



シャイン・オン!フレンズは「小児がんからつながる」をテーマに、洲崎福祉財団の助成により2021年スタートしました。小児がん経験者はもちろん家族、医療者、支援者の皆さまがつながることのできるコンテンツを発信しています。それらは小児がん経験者が主導して行い、より当事者に寄り添った展開を目指しています。



<https://shineonfriends.org/>

2021年度は大きな3つのコンテンツの充実性を図り情報発信を行いました。「小児がんのイベントやお知らせ」では、シャイン・オン!キッズが開催するイベントのみならず、小児がんや難病児支援に関わる他団体様の情報を掲載いたしました。また、小児がん経験者が自身の闘病及び現在の生活の体験談を投稿する「入院中のおはなし」では、当サイト立ち上げに協力いただいた6名の小児がん経験者の体験談を公開しています。さらにその体験談をご覧になった小児がん経験者からの体験談も投稿していただき、公開

準備を進めております。3つ目の「小児がんってなあに?～小児がん情報ライブラリー～」では、小児がん経験者と家族のより良い生活の実現を応援する支援制度などを公開し、常に最新情報にアクセスできるよう、関連リンクの定期的なチェックを行なっています。

シャイン・オン!キッズ内部から見直しを行うだけでなく、15歳から30歳代の若年層のがん啓発を目的に開催されたAYA week 2022にて、初の使用者アンケートも行いました。サイト全体のデザインについては、開設にあたり実施した小児がん経験者と家族の当事者会議の甲斐がありとても好評いただきました。さらに、新しく始動したインタビュー企画などのコンテンツについて、使用するデバイスや年齢による使いやすさについての多数のご意見も頂きました。今後は、より多くの方にとってストレスなく閲覧することができるサイトへ改善するヒントをいただきました。

今後も、皆さまからの貴重なご意見とともに、小児がん経験者が主役となるコミュニティサイトの運営に努めてまいります。

<https://shineonfriends.org/>

担当者：執印優莉亜

# 2021メディア掲載リスト

月	媒体名
1月	● 沖縄タイムス ● 山形新聞
2月	● 東奥日報 東奥小中学生新聞 ● 朝日新聞(名古屋報道センター) ● J-WAVE 「JK RADIO TOKYO UNITED」
3月	● ベネッセ 「いぬのきもち」4月号
4月	● 朝日新聞
5月	● 聖教新聞
6月	● 都政新聞 ● 静岡新聞 ● Summer J-Power 「Global Edge No.66」
7月	● 株式会社カインズ 「わんクオール」 ● NHK 首都圏ネットワーク ● 日本テレビ ● 介護医療福祉総合サイト 「ティーズ」 ● 毎日小学生新聞 ● 小学館・ペットウモロー ● ベネッセ たまひよオンライン ● 朝日新聞オンライン 「Shippo(シッポ)」 ● 毎日小学生新聞 ● 熊本日日新聞 ● 秋田魁新報
8月	● 野村証券 「wrap-i」 ● 新潟日報 ● 京都新聞 ● 宮崎日日新聞 ● 夕刊フジ 「ZakZak」
9月	● SBS 「Orange」 ● 共同通信 47NEWS ● 静岡新聞 ● 朝日新聞(静岡版) ● 日経MJ
10月	● 産経デジタル 「Cachette」 ● 宝島社 「リンネル」 ● 佼成出版 「やくしん」
11月	● 朝日新聞オンライン 「Shippo(シッポ)」 ● 東京新聞
12月	● 朝日新聞(夕刊) ● まいどなニュース

## 2021年度 収支報告

### I 収益

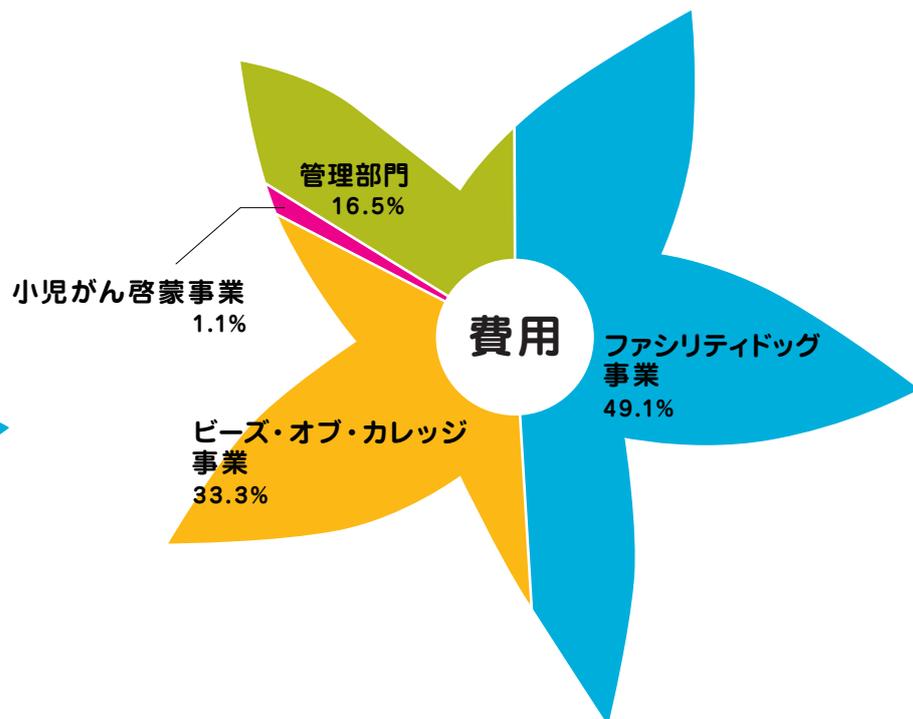
1 受取寄付金	104,018,012
2 受取助成金	8,496,000
3 事業収益	30,485,542
4 その他収益	1,380,332
収益計	144,379,886

### II 費用

1 ファシリテイドッグ事業	70,613,393
2 ビーズ・オブ・カレッジ事業 (シャイン・オン!コネクションズ、キャンプカレッジ、 シャイン・オン!フレンズの各事業を含む)	47,881,430
3 小児がん啓蒙事業	1,534,508
4 管理部門	23,749,056
費用計	143,778,387

### III 正味財産

税引前当期正味財産増減額	601,499
法人税、住民税及び事業税	70,000
当期正味財産増減額	531,499
前期繰越正味財産額	72,025,846
次期繰越正味財産額	72,557,345



# FINANCIAL REVIEW



## シャイン・オン!キッズ

認定 特定非営利活動法人シャイン・オン・キッズ  
30生都管第580号

住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町3-3-6 ワカ末ビル7F

理事長 キンバリ・フォーサイス

設立 2005年9月(2006年7月法人格取得)

 [www.ja.sokids.org](http://www.ja.sokids.org)

 [@sokids.org](https://www.facebook.com/sokids.org)

 [@facilitydogs\\_sok](https://www.instagram.com/facilitydogs_sok)

 [@shineonkids\\_boc](https://www.instagram.com/shineonkids_boc)

 [@sokidsJP](https://twitter.com/sokidsJP)

 [youtube.com/c/ShineOnKids](https://www.youtube.com/c/ShineOnKids)